

令和4年度奈良県観光総合戦略推進補助金の補助実績について

奈良県観光総合戦略における施策の柱及び施策体系		補助対象事業	補助上限額 (1事業あたり)	補助実績
(1) 観光振興の土台づくり (Administration)	③ 安全・安心な観光地づくりに向けた取組の強化	(1)災害時における観光施設等の環境整備 (2)観光施設等における感染症対策機器の整備	400万円 200万円	なし なし
(2) 自然・歴史・文化資源の活用 (Attraction)	④ 自然・歴史・文化資源を活用した観光振興	(3)自然・歴史・文化資源の多言語化整備	400万円	1件
(3) 楽しむ (Amusement)	⑥ 県内イベントの充実 ⑦ 体験メニューの充実	(4)イベントの企画・造成 (5)体験メニューの企画・造成	400万円 400万円	4件 2件
(4) 食の魅力 (Appetite)	⑧ 魅力的な奈良の産品の開発等質い物の魅力向上 ⑨ 食の振興	(6)魅力的な奈良の産品・食品の開発	400万円	1件
(5) 宿泊施設の質と量 (Accommodation)	⑩ 宿泊施設の質と量の充実	(7)ワーケーション等環境の整備 (8)多様なニーズに対応できる宿泊施設の改修	400万円 150万円または 300万円	なし 1件
(6) 滞在環境の快適性 (Amenity)	⑪ 総合観光地として必要な受入環境整備の推進	(9)観光施設等のバリアフリー化 (10)観光産業人材の育成 (11)無料公衆無線LAN環境の整備 (12)観光地における先進的な決済環境の整備 (13)公衆トイレの洋式化 (14)外国人観光案内所の整備・改良 (15)観光施設等の整備・改良 (16)多言語観光案内標識の整備	1,200万円 400万円 400万円 400万円 1,200万円 1,200万円 1,200万円 400万円	なし なし 2件 なし 6件 なし 1件 7件



R4 補助金交付事例（一例）

補助対象事業	補助対象者	事業名	内容
(3)自然・歴史・文化資源の多言語化整備	山添村	文化資源案内看板多言語化事業	<p>村では観光案内サインの連続性が確保されておらず、具体的な配置場所に関する設置方針もなく設置しやすい箇所への整備を優先していたため、来訪者にとってわかりにくい状況となっていた。統一した基準で観光案内サインを設置し、初めて訪れる観光客が迷うことなく目的地に到達でき、快適な周遊観光が促進されるよう整備を図った。</p> 
(4)イベントの企画・造成	王寺町	王寺鉄道フェスティバル2022	<p>「鉄道開業150周年」また「近鉄生駒線 王寺～信貴山下開業100周年」の節目の年に、県内外からの観光誘客及び町の賑わい創出を目指し、広く「鉄道のまち・王寺」をPRする鉄道イベント「王寺町鉄道フェスティバル2022」を開催した。集客性の高いイベントを行うことにより、県外からの一次受入れを行い、「王寺駅に集客」→「2次交通」→「観光地へ送客」というサイクルが生まれた。 観光地の賑わい創出及び王寺町の交通・宿泊・飲食・小売り事業者への経済効果が期待できる。</p> 
(5)体験メニューの企画・造成	(一社) 高取ニューツーリズム協会	～大和高取で非日常の体験～	<p>魅力的な体験メニューの造成およびモニターツアーの企画開催、イヤホンガイドの整備を行った。モニターツアー参加者のアンケート結果を元に、新しいツアー造成の礎とし、ツアーのブラッシュアップを行いながら継続実施に取り組んでいく。イヤホンガイドの導入により、説明が聞き取りやすく観光客の満足度向上に繋がった。</p> 
(6)魅力的な奈良の産品・食品の開発	(一社) 斑鳩町観光協会	新商品開発事業	<p>アフターコロナの中で観光の活況が見込まれる中、斑鳩町の特産品を使った新商品の開発が観光の誘客にも大きく影響を及ぼすと考え、「斑鳩町農と食の活性化プロジェクト」が遊休農地を活用し栽培している古代米の黒米を使った商品開発を行い、その魅力を広く発信し、斑鳩町への誘客並びに特産品の消費拡大による地域産業の活性化を図った。 今後ブランド商品として魅力を幅広く発信し、お土産として売り上げを伸ばすことにより、地元への利益還元と地域産業の活性化や観光客増が見込める。</p> 
(8)多様なニーズに対応できる宿泊施設の改修	宿泊事業者	バリアフリー化による多様な顧客ニーズへの対応	<p>お客様を最初にお出迎えする旅館の顔と言える、玄関とロビーを改修。出入口の拡幅、自動扉へ変更。玄関からフロント、1階食事処までのフロアを、段差を無くしてスロープにすることでバリアフリー化した。共用部分のバリアフリー化は、これからインバウンド及び多様化する個々のニーズに対応することで村の観光資源である温泉を活用した温泉旅館として、到着からお見送りまで寛ぎと癒しの体験を提供できる施設に改修され高付加価値化、集客増が見込める。</p>  <p>バリアフリー化されたロビー</p>
(11)無料公衆無線LAN環境の整備	川上村	ホテル杉の湯 Wi-Fi設置事業	<p>ホテルの館内において一部のエリアしかWi-Fiが利用出来ない環境であった為、海外からの観光客を含めた利用者の満足度向上及び受入環境整備のために館内のWi-Fi環境整備を行った。既存のWi-Fiと併せてほぼ全館においてWi-Fi環境が整備され、お客様の満足度向上に繋がった。</p> 
(13)公衆トイレの洋式化	三郷町	三郷町信貴山バス停トイレ整備事業	<p>三郷町信貴山東地内の信貴山バス停の待合に付属しているトイレの整備で、バス停休憩所は旧東信貴ケーブルの信貴山駅舎であり、ケーブル軌道跡遊歩道を利用した信貴山参詣の拠点にもなっている。 近年同地域は、ハイキングでの訪問が増えている。三郷町指定史跡となった東信貴ケーブル軌道跡も鉄道遺産として注目されはじめている。信貴山への観光客も増加傾向にあり、当トイレ整備は観光客への利便性向上に繋がった。</p> 
(15)観光施設等の整備・改良	葛城市	道の駅かつらぎ 観光インフォメーション整備事業	<p>道の駅かつらぎを訪れる利用客を域内観光に結び付けることを目的に、観光インフォメーションの機能充実を図った。具体的には市内及び中南部地域の観光情報を集約する足掛かりとして、パンフレットスタンドと展示ケースを設置し、パンフレットや観光に纏わる資料の展示の実施を行った。紙媒体だけでなく、具体性に富んだ観光資源の提示を通して観光イメージを想起させることに繋がった。</p> 
(16)多言語観光案内標識の整備	下北山村	下北山スポーツ公園きなり館駐車場設置看板整備事業	<p>今後増えていくと見込まれるインバウンド需要に対応するため、下北山村の観光拠点である、下北山スポーツ公園「きなり館」の駐車場に設置してある観光案内板を多言語対応の看板へ整備を行った。 きなり館には年間5～7万人ほどの多くの旅行者が訪れている。その中に外国人旅行者もおり、多言語対応の観光看板を設置することにより、訪日外国人観光客の村内内外への周遊を促すことが期待できる。</p>  <p>before after</p>